

学 校 名	福生市立福生第二小学校
コーディネーター数	4人
ボランティア数	30人

活動の概要

総合的な学習の時間 「地域交流」

学習内容：昔遊びを通じて、地域のお年寄りと交流

第三学年が二単位時間を使い、一クラスずつ町会の会館を訪れ、地域のお年寄りと昔遊びを通じて交流を図った。前半は、紙相撲・折り紙・お手玉・輪ゴム鉄砲・あやとり・剣玉などの昔遊びをテーブルごとに行い、後半はお年寄りと児童の混合チームを作り、わなげ大会を実施した。

元々は、福祉センターに集まる市内全域のお年寄りに依頼していたが、学校支援コーディネーターが配置されたのをきっかけに、地元のお年寄りに依頼したいと担任から相談され、福寿会（老人会）に依頼することになった。

コーディネーターの役割

- ・学校の要請に基づき、福寿会との日程調整
- ・授業内容の確認、時間配分等計画案の作成
- ・担任とわなげ用の班分け名簿の準備
- ・福寿会用名札の用意
- ・当日の進行役
- ・終了後、児童が書いたお礼の手紙を福寿会に届けた



活動上の工夫や配慮等

- ・後半で行ったわなげ大会では、児童用に距離を短くした。
- ・よさこいを披露する前に、補聴器を付けている方のために音量調節等のアナウンスをした。
- ・一度だけの依頼では十分な交流にはつながらないので、例年2月頃の「昔の道具・暮らし」の授業も福寿会に依頼し、当時の話をしていただく等、複数回福寿会の方と交流できる機会を設けている。

活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

授業後に感想を聞くと、福寿会と児童の両方から楽しかったと声が出ていた。福寿会の方にとっては、孫のような年齢の子供と一緒に過ごしたり、街中で会ったときに声を掛けられるきっかけになるので、交流の時間が楽しみになっているようだ。

児童が成長し、お年寄りが困っているときに、近くの大人に助けを呼び行くなど、地域貢献につながれば良いと感じる。また、各町会に福寿会があるので、他の福寿会にも広がっていくと良いと思う。

さらに、今回使用した町会の会館は二小旧校舎の廃材が使われているので、紹介できて良かった。